

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2025年

8月

240号

- ◇ トイレ掃除で幸せになるわけ
- ◇ 少子化対策はこれだ

かき氷  
たのしみ立身を  
つみあげて



玉凡かき  
画



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

# 仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## ～お知らせ～

### 行事法要のご案内

#### 秋季彼岸先祖大法要

9月21日(日)10:00 総本山、岐阜教会(合同)

※於：総本山真生寺

9月14日(日)10:00 大阪教会

9月16日(火)10:00 名古屋教会

※只今、総本山・各教会において供養受付中

### 大阪教会 新築建て替え寄進 ～申込受付中～

申込期間：令和7年12月末まで

納入期限：令和8年3月末まで(分納可)

※詳しくは総本山・各教会にお尋ねください。

竣工：来年冬予定(2月頃)

※建設諸事情で遅れることもございます。



完成イメージ 参道～正面玄関

来冬竣工予定の大阪教会新築道場は、奥行きがある参道の手前に「観音像」が祀られ、参拝者を温かく迎えて下さる明るいイメージとなります。正面玄関も現代的なデザインで設計されています。

# お盆先祖大法要

七月は総本山真生寺・各教会においてお盆先祖大法要が執り行われた。奉献の儀、御詠歌奉納に続き、読経供養が厳修され、先祖供養・各祈願が読上げられた。会長先生のご真教法話では「身近なご先祖様だけではなく、会ったことのないご先祖様への感謝や徳積みも大事」とお盆の先祖供養の大切さを説かれた。ご真教法話後、参拝者は車座になり法座を

行い、ご法話からの学びを深めた。また、総本山では株式会社アクトクリエイティブトラスト様のご厚志による食事提供があり、参拝者は振る舞われた食事に舌鼓を打ち、和やかに昼食を楽しんだ。

昼食を楽しむ参拝者



感謝や徳積みも大事」とお盆の先祖供養の大切さを説かれた。ご真教法話後、参拝者は車座になり法座を



お盆先祖供養(二)回向



会長先生(ご真教法話)



子供奉献の儀

御詠歌奉納  
(名古屋教会)



奉献の儀(大阪教会)



教会長(ご法話)  
(名古屋教会)



ご法話の深め合い  
(大阪教会)





たなかひでひと  
田中偉仁開祖さまのみ教え

企業も個人もたくさん儲けたら、たくさん国家、社会、親兄弟に還元すれば人生は充実し、安心安全な生活ができるのです。この真実の道、大自然の法則に従って努力すれば何の心配もないはずです。こんな優しい原理がなぜ実行できないか、それは自分が可愛いと欲が妨害ぼうがいしてしまうのです。嬉しい時も悲しい時も、施しの種を蒔いておけば、いつか必ず何倍にもなって幸せの実が収穫されるのです。

自分の力に応じ、収入の何割かは生活を切り詰めてでも、今日までお世話になった親にご恩返しおんがへしの還元をし、力があり財があれば、事ある毎に国家や社会に還元かえりの施しをすることが幸せに生きる秘訣ひけつであります。

喜びの油を心に注入し言葉や体力や財で施しの徳積みを実践すれば、黒字決算の人生と成るのです。

(1984年、真実に生きる51号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
た なか つね ひと



◇トイレ掃除で幸せになるわけ

世の中は出来事の受け止め方次第で「楽も苦となり、苦も楽となる」のです。苦楽は人によって内容も大きさも感じ方も異なり、絶対的な苦も絶対的な楽もありません。

定年退職後パート仕事を何度か転職してきた七十一歳になる男性信者が事故で体を痛め一年半ほど休職していましたが、大き

な会館の清掃業務の募集があり、面接のあとに相談にいられました。

(信者)「清掃と言ってもトイレ掃除そうじが主で途中小休止はありますが、朝八時から昼一時まで五時間ぶつ通しの仕事です。十日間の見習い研修の

後、本採用かどうか決定するとのことでした」と、ちよつと不満そうな様子でしたのでこんな話をしました。

(会長) 「トイレには烏<sup>う</sup>枢<sup>す</sup>沙<sup>さ</sup>摩<sup>ま</sup>明<sup>み</sup>王<sup>よう</sup>という神様がいて、毎日喜<sup>き</sup>ん<sup>ん</sup>でトイレ掃除をしていると沢山の幸せがもらえると云います。あなたはそんな有り難い仕事をさせてもらい、そのうえ給料までもらえるのはとてもラッキーですよ。

新築の家が建つとその家を守るために七人の神様がやって来ます。最初に来た神様が一番きれいで格式の高い座敷に入り、次は玄関、居間、寝室、台所、洗面所・風呂の順番に担当し、最後に残ったトイレには一番遅れて来た神様、烏枢沙摩明王が担当することになったのです。



遅れて来たのには理由があります。最初に来た神様は手ぶらで何も持たずに来たので一番早かったです。二番目の神様は小さな袋、三番目は中くらいの袋、四番目は大きな袋、五番目はもつと大きな袋とだんだん袋が大きくなり、最後七番目の神様は持ちきれないくらい大きな重い袋を持って来たので遅れて到着したのです。

そして、その袋の中には金銀財宝がいっぱい入っていたのです。だから、台所や洗面所やお風呂といった水回り、特にトイレという不浄な場所をきれいに掃除していると神様が喜んでいっぱいのお幸せを下さるのですよ」とトイレ掃除のご利益をお伝えしました。

現場が教会の近くなので、毎日出勤と帰宅の際にお参りされます。数日後、様子をお聞きしますと、

(信者)「トイレだけでなく階段やフロアーなど毎日一万歩ほど歩くので体力的にとってもきついです」と喜ばない様子でした。

(会長) 「それは大変ですね。でもね、病気にしても怪我にしても長らく休んだ後は必ず忙しくなりますよ。そこを『ああ、こんなに動けるようになった。有り難い』と喜んでやり切ると長期休養のブランクの穴が埋まって楽になりますよ。」

学校でも、ちよつと勉強を怠なまけていてテストで赤点を取ると合格するまで追試があるのと同じです。」

ただ黙々と掃除をしても喜ばませんから、仏弟子周利槃特しゆりはんどくの話をお伝えしました。

周利槃特は愚鈍ぐどんでお釈迦さまの弟子の中でも特に物覚えが悪く、修行についていけず落ち込んでいました。

そこで、お釈迦様は彼かれに箒ほうきを与え「心の塵ちりを払



い給え、心の垢けがれを浄め給え」と唱えながら、毎日祇園精舎ぎおんしやうじやの掃き掃除はをする仕事を命じられました。周利槃特は、一年間ひたすら掃除を続けるうちに「心の塵、心の垢」が取り除かれ、悟りを開いたのです。地道な努力と継続が大切であることの実例です。

最初は浮かない表情をしていたこの方も「そうですね。頑張ってみます」と顔にも微笑ほほえみが浮かび、気持ち切り替えて喜んで帰られました。どんな仕事も受け止め方、考え方次第で楽しくもなり、有り難い仕事でも苦になってしまいます。

世の中の職業や仕事は必要だから有るのであって貴賤きせんはありません。しかし、どんなに儲かる仕事も自分だけの利や欲のために働くのは賤いやしく、人の嫌がる仕事でも「誰かが喜んでくれる、誰かの役に立つ」と誇りを持って喜んで働く仕事は皆貴いのです。

本来、人間の命は平等に貴いのですが、氏素性うじすじやうや職業や仕事に貴賤の差別を作り出すのは人間の心なのです。

### ◇少子化対策はこれだ

少子化や若者の非婚未婚、核家族化による跡取りの不在により「家の血脈」が途絶え、現在一億二千万人の日本の人口は、六十年後には半減し約六千四百万人になると推定されています。また、東京一極集中や都会志向により「地方との地脈離れ」が進み、日本国という大木が子孫や地方という枝葉から弱り、国力が弱体化しつつある国情は憂うるばかりです。教育費の無償化や出産費用の無償化などの少子化対策、地方創生も大切ではありませんが、精神性や心の問題が疎かおろそになつていては根本解決ではありません。

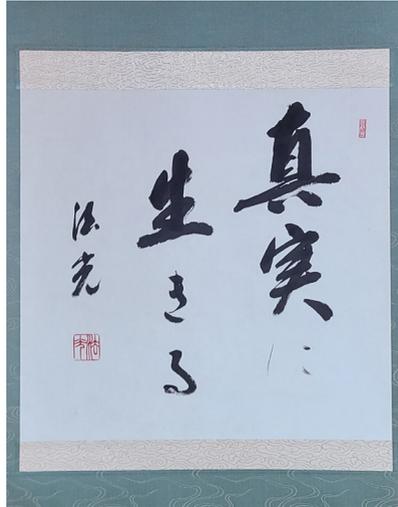
戦後八十年を迎えますが、敗戦により日本人の価値観が大きく変わり、戦前の日本の良き伝統文



化や習慣が全否定され、家から個人、地方から都会と極端に偏った結果、信仰離れや家離れによる墓じまいが急速に進んでいます。生命の根元である神仏に対する畏敬<sup>いけい</sup>、命のルーツである先祖に対する報恩感謝という生命の根っこを粗末にしたり切ってしまうえば、どんな大木も枝葉から枯れてしまうのは自明の理です。仏教は中道実践の教えです。手遅れにならないうちに家と個人、地方と都会のバランスを見直す時です。間もなくお盆を迎えます。お盆のお墓参りや日常生活の中で神仏や先祖に手を合わせる習慣は、日本に古くから続く良き伝統です。

様々な事情で墓じまいは已<sup>や</sup>む終<sup>お</sup>えない家もあるかも知れませんが、先祖じまいまでしたら、自分たちの存在意義まで失われ、家も国も先細りになってしまいます。親や高齢者の大切な役目は、命の繋がりの意義と大切さを子や孫に伝えて行くことです。レジャーや旅行のためだけの楽しいお盆休みではなく、実家のお墓参りや仏壇参りをして、ご先祖様の根っこにしっかりつながる人生を切に願うものであります。

## 先師の名言、名句



### ◇眞実に生きる（開祖さま揮毫）

眞生会の教団名は、この「眞実に生きる」に基づいて命名されました。

開祖さまの師である栗山法明聖祖様は「眞実をたずねて」という本を書かれ、法華經の眞実を体得する求道の生涯でした。師の求められた眞実の教えの道を受け継がれた開祖さまは、師の追い求められた眞実の道の実践に生きられ、全国津々浦々に眞実の教え法華經を伝える大誓願を立てられ、昭和五十四年四月十五日眞生会を開教されたのです。

私たちも聖祖様開祖さまの残して下さった法華經の眞実の道を素直にまっすぐに歩み続け、人格完成、仏の境界に至るまで精進しましょう。

# 今月の運勢（9月）

（2025年9月7日～10月7日）

## 一 白水星

人間関係はタイミングが大切。優しさと親しみを持って人と力を合わせる。計算や理屈で迷いを生じ、ためらっていると好機を逃す。相手を見極めたら速やかに手をつなぐこと。遅れると凶となる。

## 二 黒土星

トンネルを抜け一筋の光が見えてくる。ゆっくりだが着実に希望の光が広がっていく。疎遠になっていた人や心が離れていた人も戻って来る。一陽来復すべては元通りになる。積極的な行動は吉。

## 三 碧木星

何事にも変わらぬ信念

で長く続けることが大切。夫婦や仕事仲間との関係も信頼と継続があれば何事もうまく行く。想定外の出来事にも運気が下がるので途中で止めないこと。

## 四 緑木星

行動的な四緑だが、ちよつと足を止めエネルギーを蓄えよう。中心にいて周囲の様子もよくわかるが、すべての人から注視されているので言動に注意し、優しさで接すること。

## 五 黄土星

新しいことを始める時ではない。今日まで積み重ねてきたことをス

ピード感をもって完成

させることに集中しよう。一人で抱え込まず、信頼できる上位者の助言を仰ぐこと。

## 六 白金星

柔よく剛を制す。柔軟な考え方が有れば難問も解決できる。上下の分をわきまえ、上位者に対して全幅の信頼を持つこと。何事にも感謝と喜びは無類の強さを発揮する。

## 七 赤金星

動機が正しくお互いに意気投合すれば願いは叶う。但し、そこに私心や損得勘定の打算があつてはならない。無私の心で力を合わせ、

互いの感動が成功の原動力となる。

## 八 白土星

太陽の光が大きな山にさえぎられて遠くには届かない。何事にも過大な期待をせず、手近な小さなことを大切に実行するとよい。時には手直しすることや入れ替えることも必要。

## 九 紫火星

未完成にこそ魅力と可能性がある。世の中は苦楽が一对であり、苦労があるからこそ工夫と努力ができる。きつと良くなると一筋の希望の光を信じて進めば困難を乗り越ええられる。

## 「まごころ誌代」御礼

土川順寛	坂本育身	谷口祐子	田中宏明	多田敏春
土川恭代	大下裕子	山田佳延	田中花音	大橋末子
土川康二	堀田純子	飯田修五	亀井善広	京川春男
土川廣美	笹原トミ子	飯田昌子	亀井由実子	鈴木正巳
横山知津子	笹原正子	横井志奈子	熊田啓予	福元正子
山本季美衣	平口富子	横井明彦	足立和美	滝本光夫
佐藤百々枝	宮島りえ	平工晴康	高橋身衣	岸本昌子
佐藤光洋	村上視佑記	鈴木快法	早野桂子	岸本しげ子
伊東 晃	永田雅子	宮田雄貴	豊田直正	岸本周夫
安田初子	樋口恵美子	多田佳央	豊田真悠子	東森敦己
荒木敬依子	樋口容子	松尾定洋	多田正幸	東森弘和
出田ときこ	細谷早予子	田中庸仁	多田道子	広田えり子
小村友子	西啓依子	田中佑季子	堀部恭利	亀井善二
滝山恵依子	坪井祥子	田中祥陽	堀部祐美衣	
池澤幸代	谷口祐晟	田中理夏子	早野起世	

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

## しあわせ眼鏡

すべての人に仏性がある  
仏さまの眼で見て人を誉  
めて育てる  
慈悲の心で相手を信じて  
見守る  
相手が喜べば、仏性が動  
き出す

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |            |  |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>T E L 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>T E L 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>T E L 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします